



特集

甲南大学の  
21世紀ビジョン  
新しい時代の大学教育をめざして

シリーズ 甲南学園の20世紀 **4** 昭和2年(1927年)

## 他校に類を見ない大食堂を建設

日本が新しい年号「昭和」に改まった翌年、昭和2年(1927年)に平生鈞三郎は、学園に5万円(当時のサラリーマン1000人分の月給)もの大金を寄付して食堂を建設。それは、当時の学校としてはまれに見る、機械化された清潔な大調理室を備え、500人に同時に給食できる、他校に類を見ない大規模の食堂でした。

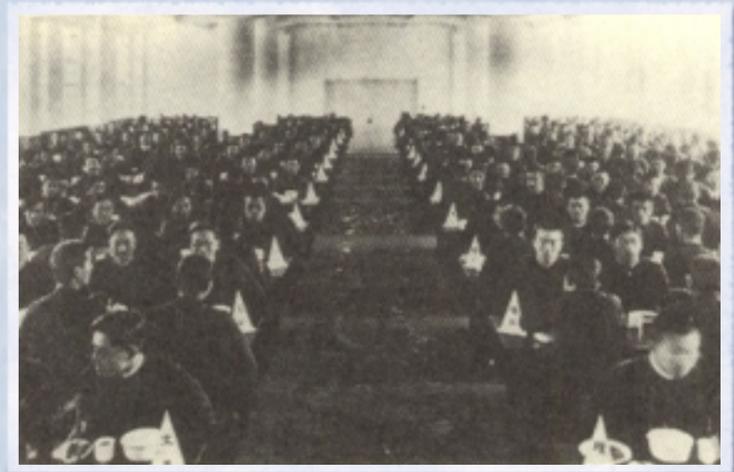
正午、全クラスの生徒が集合するとベルが鳴り、いっせいに同じ献立の昼食をとる風景はまさに圧巻。楽しみに食事をとる生徒たちの間には、校長をはじめとする教職員も加わり、自由に懇談するなかで、師弟の関係を深めていきました。

また、食堂内では、生徒が自主的に運営する行事もさかに行われ、どこかの部が試合に勝って優勝旗やカップを持ち帰ると、入口に飾って喜びを共にするという習慣も誕生。平生は食堂を教育の場として考えていたのです。

平生鈞三郎のことは――4

『すべての人は天才であり、その天才を発揮させてゆくということが、人間をつくることの本義でなければならぬ。』

平生鈞三郎述「私は斯う思ふ」(昭和11年発行)より



食堂は、生徒・教職員が相交わって懇談できる、学内社交の場のひとつでもあった。

インターネットで甲南大学へ

<http://www.konan-u.ac.jp>

# 甲南大学の 21世紀ビジョン

特集

新しい時代の大学教育をめざして

情報化や国際化など大  
学を取り巻く環境は大き  
く変化しています。21世  
紀を迎え、そうした現代  
社会の要請に対応すべく、  
さまざまな改革を行う甲  
南大学。今回は、その具  
体的な取り組みや、拠り  
所となる教育理念などを  
通して、甲南大学が描く  
21世紀ビジョンをご紹介します。

## 目次

Discover Konan 甲南大学・再発見 — 2  
災害記念碑「常二備へヨ」

特集 / 甲南大学の21世紀ビジョン 3

甲南大学の新たな取り組み — 4  
新しい学び  
新しい設備  
情報化  
国際化  
経営リーダー育成  
21世紀の教育環境

the 50th Anniversary — 11  
「甲南大学開学50周年記念式典」を挙  
行  
同窓生ホームカミング  
「オール甲南の集い」を開催

Konan Spirits Special — 12  
21世紀 甲南大学へのエール

甲南 Campus Tour — 14  
Seminar 辻田ゼミ  
Laboratory イギリス文化史研究室  
Box Close-up 体育系/応援団  
文化系/JAZZ研究会

甲南学園ロゴ — 16

甲南大学の教員が執筆したブック紹介 — 16

甲南通信 — 17  
TOPICS  
就職情報  
甲南フォーラム  
EVENT GUIDE

シリーズ / 甲南学園の20世紀 — 20

## Discover Konan

### 甲南大学・再発見 常二備へヨ

甲南大学1号館前に「甲南学園災害記念碑」  
があります。これは、阪神大水害と阪神・淡路  
大震災を後世に伝えるために建立されたもの  
で、平生夙三郎先生の「常二備へヨ」のことば  
と、理事長・学長連名による「天の災いを試練  
と受け止め、常に備えて、悠久の自然と共に生  
き、輝ける未来を開いていこう」という碑文が  
刻まれています。

自然は時として、私たちに厳しい試練を与え  
ます。災害によって被害を受けた多くの人びと  
の悲しみや苦しみを忘れないためにも、このこ  
とを心に留め、自然を守り、感謝し、甲南大学  
と神戸の地の発展に努力することこそが、私た  
ちの役目であり、真の慰霊になるのだというこ  
とを、この碑は静かに教えてくれるのです。

記念碑に刻まれた「常二備へヨ」のことば



外枠のみかけ石の色で阪神大震災の発生時刻5時46分を示しています。



### 今回の表紙

ベンチに座り、楽し気に会話を弾ませる  
甲南大生たち。1号館の屋上は、学生たち  
の「語らいの場」となっています。

# 甲南大学の新たな取り組み

21世紀を見据えた、甲南大学の新しい教育環境

学長インタビュー  
甲南大学長 吉沢 英成

## 教育発展のための土台づくり



21世紀の始まりとともに、甲南大学は今年、開学50周年を迎えました。これを機に、私たちは新世紀にふさわしい大学教育を実現させるべく、より優れた教育環境づくりをめざし、さまざまな試みを始めています。

「情報化」「国際化」など社会の要請に応じた人材を育てるための環境・体制を整えることは、これからの大学教育を語る上で、欠くことのできない重要課題です。甲南大学では、マルチメディア教育の推進や情報インフラの整備などを行い、社会の流れに対応した教育をめざしています。

さらに、膨大な量の情報が飛び交う現代社会において、実際に人と向き合い、「コミュニケーション」していく「face to face」の精神も忘れてはならないと考えています。学生が「つしや異文化をもった人びと」と語り合い、考えをぶつけ合うそのプロセスで、自分自身の生き方が形成されていくからです。

## 『新しい学び』の創造に向かって

### 新学部・新学科

文学部に「歴史文化学科」が誕生、理学部は「理工学部」へ改編

大学は人類が築いてきた知を継承することにも、新たな知を開拓することをもその役割としています。甲南大学も開学以来、学部・大学院の充実をはかり、5学部13学科、3研究科12専攻を擁する総合大学に発展してきました。そして21世紀を迎えた今、新しいコンセプトを持つ「教育」の創造をめざして、いっそうの躍進を上げます。

文学部に「歴史文化学科」を新設し、理学部は「理工学部」に名称を改め4学科に再編。新世紀に向けて、甲南大学の「学び」の世界はさらに大きく広がります。

「歴史」と「地域・環境」の2領域から、未来を追究する「歴史文化学科」

文学部に新しく加わる、「歴史文化学科」は、日本史・東洋史・西洋史という歴史分野だけでなく、地理学や文化人類学の分野も含む、広い領域を対象としています。そしてその特色は、歴史という時間軸と、地域という空間の軸をあわせ持つこと。とりわけ、甲南大

甲南大学の21世紀ビジョン  
新しい時代の大学教育をめざして

学が立地する神戸の歴史文化に着目し、地域の未来創造に寄与することを視野に入れた教育・研究を重視しています。

単に歴史を振り返るだけでなく、「歴史」と「地域・環境」の2領域を通して、より広く、より深く、人類の未来を追究します。

理学と工学の新たな融合をめざす「理工学部」

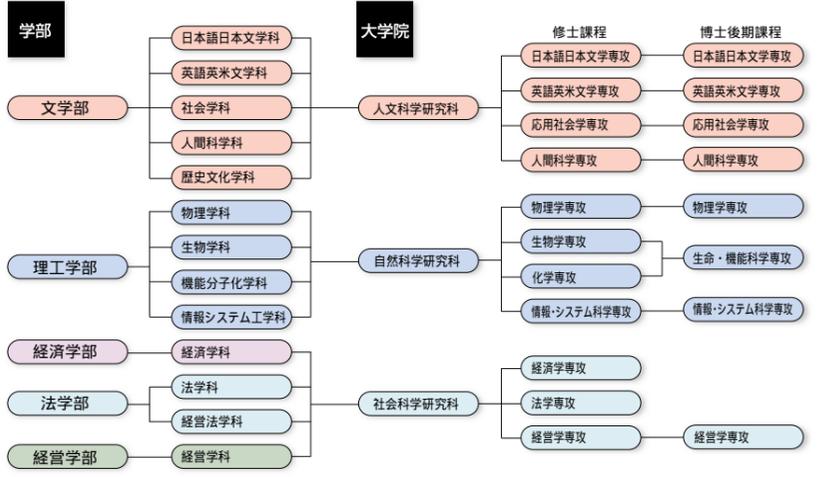
理学部は、1957年の発足以来、純粋理学と工学の融合を視野に入れた教育・研究を行ってきました。

そしてこの度、理学部は時代の変化や科学技術の新たな展開のもと、社会的要請により応えられる教育研究を目指し、「理工学部」として再スタートします。

「理工学部」では、それぞれの分野の専門知識を修得した上で、現象と問題の根源をとらえ、課題解決能力に優れた人材を養成し、次代の科学・技術を担う者に必要な創造性を培うことに力点を置きます。



甲南大学の構成・組織



甲南大学の21世紀ビジョン  
新しい時代の大学教育をめざして

新課程誕生

大学院人文科学研究科人間科学専攻に  
博士後期課程を設置

凶悪犯罪などの社会問題、家庭内暴力や児童虐待などの家庭問題、不登校やいじめなどの教育問題……。人間の内的危機の現れとして起こる諸問題を、臨床心理学の立場から援助し、その解決の道を切り開くことが強く求められています。

2001年4月から人文科学研究科人間科学専攻に博士後期課程を設置。臨床心理士として専門的な活動を行うだけでなく、後進の指導にもあたることのできる、より高度な専門的知識・技量を備えた

人材の育成に取り組んでいきます。

理工学部情報システム工学科に「情報」の教職課程を新設

21世紀にますます加速する「情報化」(IT(情報技術)化)の流れに対応して、2003年度より高等学校の教科にも「情報」が新設されることになりました。

甲南大学では、理工学部情報システム工学科に「情報」の教職免許取得のための課程をいち早く設けました。情報に強い「次世代」を育てる人材「情報化社会に強く求められる教員の養成をめざします。

高度な専門知識・技術を身につけた学生たちにとって、将来の選択肢がさらに広がりました。



新しい設備  
学内最大規模の知の空間

新5号館完成

全館マルチメディア対応  
新5号館「学習情報プラザ」

21世紀の高度情報化社会に対応すべく誕生したのが全館マルチメディア対応の新5号館「学習情報プラザ」です。

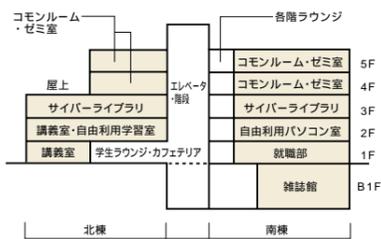
学生がノートパソコンなどの情報端末を個々の机上で活用できるよう、各講義室やゼミ室などの座

席に情報コンセントを設置。遠隔授業が行える講義室もあり、最新の情報教育施設・設備と快適な学習・生活環境を備えた、新時代のインテリジェント施設です。

「コミュニケーション能力を鍛える」高度知的工房空間」

新5号館は、学生自らが知的能力を高めながら、「コミュニケーション能力」を鍛えることのできる、いわば「高度知的工房空間」。

1階には学生の就職活動を支援する就職部や語らいの空間となる



カフェテリア、2階には自由に利用できるパソコン室や学習室、3階には主に社会系学生の自主学習を強力にサポートするサイバーライブラリなどを配置しています。

学内全体の情報ネットワーク環境もさらに大きく向上

自由利用できるパソコンや情報コンセント、無線LANが利用できるフリッシュを学内の随所に設置。情報ネットワークにアクセスしやすい環境を整備し、授業や自主学習に活用できるようにしています。



情報化  
さらなる充実をめざして

甲南S ネット計画始動

パソコンを使って  
学習効果を高める  
甲南S ネット計画

新5号館の誕生を機に、学内にはより密度の濃い情報ネットワークが張りめぐらされ、キャンパス全体が「高度情報空間」と呼ぶにふさわしい環境になります。

現在、学生にとって情報端末(パソコン)は必要不可欠な道具。こうした背景を受けて甲南大学では、学生が個々に情報端末を持つ

て、大学や家庭での学習に積極活用できるマルチメディア環境を構築するための「甲南S ネット(Student Network)」を始動。これにより、学生は時間や場所に縛られず情報にアクセスでき、パソコンでの教員との情報交換や質疑応答など、学習面でも飛躍的に高い効果が期待できます。

学内の随所からインターネットにアクセスできる

「無線LANシステム」  
「甲南S ネット計画」の取り組みのひとつに「無線LANシステム」



新5号館外観

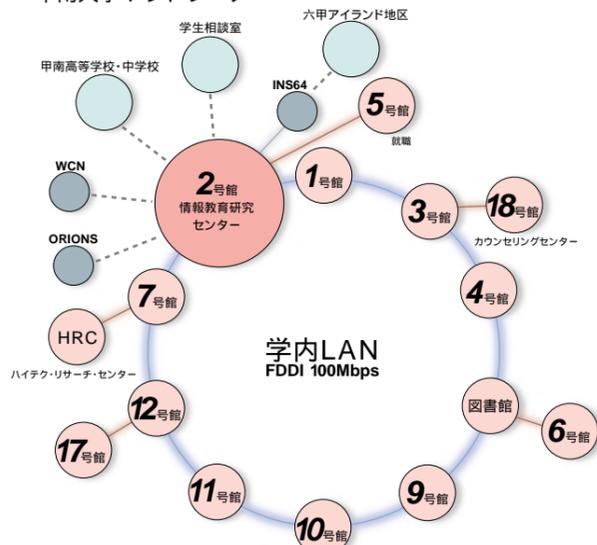


3F: サイバーライブラリ・エントランス



3F: サイバーライブラリ

甲南大学ネットワーク



学内LAN  
FDDI 100Mbps

2年次後半から1年間、UBに留学。いわゆる語学留学ではなく、経済・経営の専門科目を学ぶための留学です。

日本での実践的英語教育で海外留学を全面的にサポート  
入学後の1年半、経済・経営の



ニューヨーク州立大学バッファロー校(UB)での海外学習

1学年35名の徹底した少人数制。4年間独自のカリキュラム

学生は経済学部または経営学部

に在籍し、ニューヨーク州立大学バッファロー校(UB)への1年間の留学を含む4年間を独自のカリキュラムで学びます。

世界規模で活躍できる経営リーダーを育成する「EBA総合コース」を新設

甲南大学では2002年4月、EBA(Economics & Business Administration)総合コースを新設。国際経済経営の分野で指導的役割を果たしている人材の育成をめざします。

EBA総合コース新設



国際人育成のためのより高度な試み

基本学習と並行して、UB留学のための密度の高い英語授業を実施。UBからも協力を得て、実践的な英語力の養成に力を注ぎます。情報機器を使いこなす。

まず、1年次でパソコンを徹底マスター。授業中の情報収集やレポート作成など、4年間を通じて情報機器やネットワークを使いこなす技術を身につけていきます。

実業界からの客員教授によるワークショップ型授業の展開

UB留学後の3年次後半から実施するワークショップ方式の授業では、客員教授として第一線の企業家を招き、双方の意見交換によるアクティブな授業を展開し、一人ひとりがビジネスに対する自信の醸成を促していきます。



ニューヨーク州立大学バッファロー校



テーマは「世界を舞台に活躍できる人材の育成」

国際言語文化科目開設

国際化時代の全学部共通カリキュラム「国際言語文化科目」

甲南大学では国際化への取り組み



組みにも力を注ぎます。今年度からは全学部共通カリキュラムとして「国際言語文化科目」を新たに開設。2001年度入学生から適用します。これは「外国語と文化を総合的かつ体系的に学ぶための新しいカリキュラム。中級外国語およびその関連科目を各コースで集中的に学び、国際理解・異文化理解を深め、世界とコミュニケーションできる能力を身につけることを目的としています。」

「ム」があります。これは、1997年から郵政省と文部省による「マルチメディアキャンペーン展開事業」で実現した共同プロジェクトで、学生にノートパソコンを提供し、学内の無線LANにアクセスできる環境を整備することで活用法を開拓するもの。学生は学内の随所から無線でマルチメディア教材やインターネットに接続して学習したり、「遠隔レポート編集システム」を利用してレポート提出教員はそれを評価するなど、IT時代の先端をいく取り組みを始めています。



マルチメディア教材

## キャンパスのいっそうの充実

### 経営学専攻大学院社会人コース

2002年度から大学院社会科学研究科経営学専攻修士課程に、社会人を対象とした主に夜間開講の「ビジネス（仮称）」を開設します。21世紀の高等教育機関として社会的要請に応えるとともに、社会系の学部教育の活性化のためにも、将来に向けて甲南にふさわしい専門大学院を構想していきます。

### 新6号館

2001年8月から新6号館の建設に着工します。この建物には、外国語教育の中核となっている

「国際言語文化センター」と、理工学部情報システム工学科の教育研究施設が入ります。新6号館は2号館と連結され、情報教育研究センターと合わせて、語学教育と情報教育が融合するマルチメディア教育スペースを形成します。完成は2003年2月の予定です。

### 甲友会館

在学生の課外活動の活性化および卒業生の利用のための施設として「大学甲友会館（仮称）」の建設を計画しています。館内には多目的に利用できる文化ホールも設けられる予定です。



## 世界で通用する 人材育成をめざして

21世紀、国際化はさらに加速していきます。世界を視野に入れた教育は、必要不可欠となっています。世界で通用する人材とは、課題解決能力とコミュニケーション能力を備え、なおかつ豊かな個性を持った人間のこと。甲南大学で自分の個性を見つけ出し、さらに磨くことが大切です。そのプロセスが自立にも結びつき、真のコミュニケーション能力をつくり出します。

社会のニーズに応える人材を育成することはもちろん大切です。しかし甲南大学では、それだけではなく、社会のニーズそのものを自ら創造していくような人材の育成をめざしていきます。

## the 50th Anniversary

### 「甲南大学開学50周年記念式典」を挙

### 行 同窓生ホームカミング

### 「オール甲南の集い」を開催

4月21日（土）午前11時より、本学講堂兼体育館において、来賓多数をお招きして「甲南大学開学50周年記念式典」を挙行。式典後には、関係者および招待者の親睦を深めるべく、記念パーティーを新5号館で開催します。  
同日午後1時30分からは、甲南大学の卒業生やその家族が楽しく集い、語りつ、「オール甲南の集い」がスタート。メイン会場となる講堂兼体育館など、キャンパス全体を舞台に、大々的に催される予定です。

### 演奏会

新5号館1F大教室  
【13時30分～16時00分】

中国古箏奏者・伍芳氏が華麗にオープニングを飾る演奏会、女性合唱団「アモロロン」や甲南高校トラスアンサンブルなども出演を予定しています。

### 講演会

1号館4F142教室  
【14時00分～15時30分】

映画監督・大森一樹氏を講師に迎えて、「第126回現代講座」を開催します。演題は「わたしの人生案内」。

### クラブ・ゼミOB会

10号館2F3教室  
【14時00分～16時00分】

クラブ、ゼミ、研究室などでお世話になった恩師や旧友たちと楽しく語り合う場。懐かしいあの顔にきつと出会えます。

### 演舞会

グラウンド特設ステージ  
【14時30分～16時00分】

アメリカンフットボール部のチアリーダーによる演技や歌舞伎文楽研究部、能楽研究部などの舞台をご覧いただけます。

### 立食パーティー

講堂兼体育館  
【16時00分～17時30分】

著名なクラリネット奏者・北村英治氏と現役・OBビッグバンドの共演や甲南高校トラスアンサンブルなど、豪華なバックグラウンドミュージックのなかで、会話の弾む立食パーティーをお楽しみください。

### 福引き抽選会

講堂兼体育館  
【17時30分～18時00分】

全員集合、「オール甲南の集い」の掉尾を飾る福引き抽選会を行います。海外旅行招待券のほか、景品多数を用意して、皆様の参加をお待ちしています。

### ご家族でお楽しみいただけます

キッズランド 10号館1F13時30分～17時00分  
おままま向けのイベントを多数用意。  
パソコン教室 2号館情報教育センター13時30分～16時00分  
インターネット初体験や初心者クラス、小中学生向けのクラスを準備

### お問い合わせ

「甲友会」078・441・4548  
「甲友会ホームページアドレス」  
<http://www.adm.konan-u.ac.jp/561koyu>  
各場PTU事務局へお問い合わせください。

Konan Spirits Special

大学生活でのさまざまな体験が  
かけがえのない財産になりました。



三井物産株式会社勤務  
榎本 淑恵さん  
文学部社会学科1992年卒業

クラブやサークルに所属することなく過ごした4年間。しかしとても充実した4年間でした。というのも「自由な空気・静かな環境」のなかで、毎日の授業やゼミでの研究、また友人との会話が、今となっては貴重な財産となっているからです。こういった学生時代を過ごせたのも、甲南大学が、学生のやりたいことができる環境を整え、情報を提供し、サポートしてくれる大学だったからでしょう。後輩の皆さんには、学生時代にいろいろ経験をして、自分を磨いて欲しいと思います。現在の情報化社会では情報が溢れています。これに振り回されないことが大事です。最後には情報を自分で判断できる力を養



つて欲しいと思います。甲南の卒業生は後輩に温かく接してくれるので多くの人の意見を参考にしてください。現在、私の職場は関西支社鉄鋼部薄板グループに所属し、お客様と一体になって、取引を円滑に進めるために必要不可欠なさまざまなサービスを提供しています。他社との厳しい競争のなかで、流通革命にも果敢にチャレンジしています。

現在、私が所属している法人営業部プロジェクト開発グループでは、主に大型事業法人に対する、ソリューションビジネスモデルの立案を行っています。具体的には、システムインテグレーション業務（コンピュータネットワークの整備・維持）に加えて、各種ソフトウェアの導入やコンサルティングを行い、顧客企業の抱える問題に対して解決策を提案していくもの。昨今ではあらゆる企業が参入し、競争が激化している新しい分野でもあります。それだけに、社内の期待も大きく、それを担う私の責任も重大ですが、ひとつの仕事をやり遂げた後の達成感、この仕事ならではの醍醐味です。

「世界に通用する紳士たれ」の教えが、  
ビジネス成功の「鍵」となっています。

株式会社ジェーシーピー  
園井 貴雄さん  
経営学部経営学科1992年卒業



甲南大学で学んだ「世界に通用する紳士たれ」の教えは、社会人となった今でも私の指針となっています。自分を過信せず、

Konan Spirits Special

21世紀  
甲南大学への  
エール 新世紀へ受け継がれる  
甲南スピリッツ

私は、中学・高校・大学と一貫して甲南学園で学びました。大学時代で印象に残っていることは、当時所属していた体育会硬式庭球部が大学王座決定戦で優勝したこと。これは16年ぶりの快挙として、学長主催の祝賀パーティーも開催されました。部のメンバーが丸となって、ひとつの目標に向けて努力することの大切さを知り、目標達成後の充実感を味わったことは、社会に出る際の大きな足掛かりとなり、今日までの支えにもなっています。

そしてもうひとつは約2年間のアメリカ留学。特に留学後、半年間かけて車で北米と欧州諸国をひとり旅したことは、今でもときどき思い出します。地図の上でしかわからない国境を目の当たりにしたり、本を読んだだけではわからない文化や人びとの暮らしを体験したり。語学だけではない、あらゆる「学び」がそこにはありました。

私が思う甲南スピリッツとは「創造的なチャレンジ精神」。個性尊重の学風のなかにいたからこそ、かけがえのない経験や人との出会いが得られたのだと思っています。

甲南大学の自由な校風のなかで  
社会での礎を築くことができました。



象印マホービン株式会社  
代表取締役社長  
市川 典男さん  
経済学部経済学科1981年卒業



私にとっての甲南大学は「人生においてもっとも輝かしい時代を過ごせた場所」。特に思い出深いのは、軟式野球部でのマネージャー経験です。みんなでひとつの目標に向かって頑張ることの大切さはもちろん、実際に試合に出る選手たちを影で支えるということにやりがいを感じました。「表舞台で活躍するよりも、その裏でサポートする方が自分に向いている」。この発見は、就職活動で仕事を選ぶ際、たいへん参考になりました。

現在は主に金融機関向けの現金処理機器を取り扱う



甲南大学で自分の「得意分野」と  
生涯の友人たちに出会えました。

私にとっても、甲南大学は「人生においてもっとも輝かしい時代を過ごせた場所」。特に思い出深いのは、軟式野球部でのマネージャー経験です。みんなでひとつの目標に向かって頑張ることの大切さはもちろん、実際に試合に出る選手たちを影で支えるということにやりがいを感じました。表舞台で活躍するよりも、その裏でサポートする方が自分に向いている。この発見は、就職活動で仕事を選ぶ際、たいへん参考になりました。

現在、私が所属している法人営業部プロジェクト開発グループでは、主に大型事業法人に対する、ソリューションビジネスモデルの立案を行っています。具体的には、システムインテグレーション業務（コンピュータネットワークの整備・維持）に加えて、各種ソフトウェアの導入やコンサルティングを行い、顧客企業の抱える問題に対して解決策を提案していくもの。昨今ではあらゆる企業が参入し、競争が激化している新しい分野でもあります。それだけに、社内の期待も大きく、それを担う私の責任も重大ですが、ひとつの仕事をやり遂げた後の達成感、この仕事ならではの醍醐味です。

甲南大学で学んだ「世界に通用する紳士たれ」の教えは、社会人となった今でも私の指針となっています。自分を過信せず、

コーリー商事株式会社  
大東 泉さん  
経済学部経済学科1991年卒業



# クラブ紹介 Box Close-up

Box Close-up



体育系 『甲南大學応援團』



団結力と「押忍」の精神で地域のボランティア活動やイベントへ積極的に参加

甲南大學応援團は、1954年に創設されました。団員は現在、男子10人、女子5人（吹奏楽部）。練習は腕立て伏せや腹筋、発声などを毎日欠かさず、昼休みの40分間を利用して行っています。

合言葉は「押忍（おす）」。「忍んで耐える、忍耐などの意味がありますが、団内ではさらに、年上の人に敬意を払い、団員であることの誇りと自覚、責任をもって行動するという意味も含んでいます。引き締まった表情の団員たちが大声で応援歌を歌い、喝を飛ばし合いながら演舞の練習をする風景は、見る人に嬉しいイメ

ージを与えますが、打ち上げなどの場ではいたって和やか。甲南大學応援團では、強い団結力とけじめのある活動を常に心がけているのです。

阪神・淡路大震災後、神戸に震災遺児の心をいやす家「レインボーハウス」の建設を呼びかける「あしなが学生募金」に参加。その活動はマスクミでも取り上げられ、1996年度には父母の会の「金甲賞」（1年間を通じて顕著な活動を行った団体に贈られる）を受賞しました。

学内行事だけでなく、消防署で行われる放水大会での演舞や各種イベントへの参加など、活躍の範囲は年々着実に広がっています。

ア) などを使った経営戦略を取り上げ、企業による違いやアメリカとの比較、最近の動向などを研究しています。

レポート発表は、年に2回〜3回、ノートパソコン上のテレビ会議システムを利用して行います。このシステムは、各パソコン上で同時に同じデータを表示することができるといふ画期的なもの。従来のペーパーによる発表だけでなく、最新の情報ネットワーク環境を併用することで、パソコンの活用能力を高めていきます。また、プレゼンテーシ

ョンに使用する資料作成にはパソコンソフト「パワーポイント」を採用。従来はモノクロだったスライド画面に色や動き、音声などをつけることで、さらに効率的なプレゼンテーションが行えるようになりました。

社会の第一線で活躍する上で不可欠となる情報技術や、自らの考えを人に伝える技法「プレゼンテーション能力」の育成にも積極的に取り組む辻田ゼミ。その授業風景は意見が活発に飛び合う、まさに生きた「実践授業」そのものです。

真でした。それをあらゆるメディアだけでなく、シャーロック・ホームズの生みの親で知られるアーサー・コナン・ドイル卿までもがその存在を信じ、それを有名誌で発表。ですがその後約60年たってから、当事者自身が妖精は紙で作ったものであり、写真はトリックであると告白した、というのが事件のあらましです。

議論ではまず、なぜ少女たちが妖精のトリック写真を撮ったのか、なぜ大人たちは信じたのかなど、学生たちが事件に対して抱いた疑問を討論

しあう場を設け、次に当時のイギリスの時代背景や生活習慣、風習、子供へのしつけ、教育への考え方などを理解し、事件が起こった要因を多方向から検証していきます。

自らを時間旅行のガイド役、という井野瀬教授は、学生の「学ぶ自主性」を大切にしたいと語ります。学生たちが興味を抱いた事柄のルーツを探ることと歴史を紐解いていく。一種、謎解きにも似たユニークな研究風景は、教授と学生間の意見交換が活発で、常に笑い声が絶えません。

今の時代に不可欠な確かな情報技術と、プレゼンテーション能力を育成

辻田ゼミのテーマは「IT（情報技術）時代における企業の経営戦略」。3・4年生、大学院生と一緒に授業を受けるという、他のゼミには類を見ない授業スタイルをとっています。

授業では、サプライ・チェーン・マネジメント（取引先との製品の発注や資材・部品の調達、生産、配達などをITを利用して統合的に管理し、企業収益を高めようとする管理手法）やエンタープライズ・リソース・プランニング（全社的業務管理や、会社全体の経営資源の計画的な活用をはかるコンピュータのソフトウェア



eminar ゼミ訪問

Seminar



理学部経営理学科 辻田 忠弘教授 『辻田ゼミ』

Laboratory



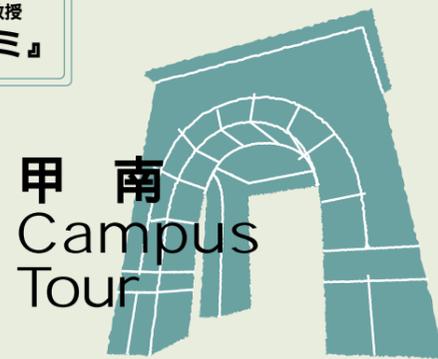
文学部英語英米文学科 井野瀬 久美恵教授 『イギリス文化史研究室』

学生たちが興味を抱くテーマを出発点に、「歴史を紐解く」時間旅行「へ

近代イギリスの文化と社会を核に、世界中の文化や社会、伝統などにも興味や探究心、知識を高めていくことを目的とするイギリス文化史研究室。教授自身の研究の主な視点は、1900年前後のイギリス大

英帝国にあり、そこでは今のイギリスに続く君主制やナショナル・トラスト、動物愛護の考えなどが誕生しています。こうした新しい考え方がどのような時代を背景にして生まれたのか、そのとき、人びとはどんな暮らしを送っていたのか、など、思考の枝葉を無限に広げていくことで、学生の研究の奥行きをも広げていきます。

たとえば、教授の指導の下、ゼミ生のひとりが選んだテーマは「コティングリーの妖精事件」。この始まりは1917年のイギリス・ヨークシャーのコティングリー村で、2人の少女が撮影した妖精の写



学生の目線で巡る 甲南大学

atory 研究レポート

# 甲南通信

## TOPICS

平成13年度一般入学試験志願者数  
前年比8.1%増の2万4927人

平成13年度の一般入学試験志願者数は、A日程が1万2200人で、前年に比べ706人の増、B日程が6502人で、649人の増、B日程S方式は349人で、19人の減、C日程は3053人で、129人の増、D日程は2823人で、93人の増、結果、A日程、D日程の志願者総数は1858人(8.1%増)の2万4927人でした。

学部別に見ると、文学部(2.2%減)と経営学部(2.1%減)が前年を下回ったものの、経済学部(23.2%増)や理工学部(20.0%増)、法学部(11.3%増)は持ち直しの傾向にあり、受験人口の減少や不況による国立大志向、併願の絞り込みによる本学の志願者総数の減少に回復の兆しがみられます。

D日程は、追加合格発表による出願辞退があるため、2月28日現在の志願者数です。

### 体育会祝勝会・文化会顕彰会・ 父母の会課外活動表彰式を行う

2月21日、学生会館3階のバンケットルームで、平成12年度の体育会祝勝会・文化会顕彰会・父母の会課外活動表彰式が行われました。



学生部主催の祝勝会・顕彰会はこの1年間、めざましい活躍をみせた学内団体を招待し、その労をねぎらうもので、学年末を飾る恒例行事として学生らに親しまれています。また、父母の会による課外活動表彰式は、文化、スポーツ、ボランティア活動などで優れた業績を挙げた学生や学内団体の栄誉をたたえ、表彰状と助成金を贈るもので、「金甲賞」と称しています。本

### 体育会軟式野球部がタイへ海外遠征

体育会軟式野球部がタイ・アマチュア野球連盟A(BAT)の招待を受け、平成12年12月4～10日までタイを訪問し、親善試合を行いました。

結果は甲南大学チームの圧勝。試合後には関係者が一同に集う盛大なパーティーが開かれ、両チームが互いの健闘をたたえ合い、親善友好をさらに深めることができました。

年度で7回目になります。

会には理事、教職員をはじめ、各部の代表など約80人が出席。祝勝会・顕彰会招待団体の紹介、金甲賞受賞者の選考報告に続き、片山勉父母の会長より1人4団体に表彰状と助成金が贈られました。その後の祝宴では、各部の指導者と学生たちが、今後の活躍を誓い合っていました。

祝勝会に招待された団体は、弓道部、サッカー部、柔道部、馬術部、以上4団体、顕彰会に招待された団体は、歌舞伎文案研究部、探検部、演劇部、観光事業研究会、民俗研究会、書道部甲斐会、女声合唱団アモーソ、茶華道料理部道心会、以上8団体。

### 【金甲賞受賞】(かつこ内は受賞理由)

文学部人間科学科3年・奥村祐加さん、ドイツ語弁論大会「弁論・暗誦の部優勝」、体育会剣道部(関西学生剣道優勝大会で男子団体準優勝)、体育会軟式野球部(近畿六大学春季リーグ戦優勝)、体育会釣同好会(全日本学生釣魚連盟関西支部春季ルアー大会優勝・坊忠秀さんほか)、文化会マンドリンキタークル(入特別養護老人ホーム、鶴林園での演奏会やマンドリニストを招いての技術向上に向けた取り組み)

甲南学園ロゴ



甲南学園では、2001年という新世紀の始まりに、学園(甲南大学・甲南高等学校・甲南中学校)を表す統一マークと文字タイプを設定。統一マークのデザインは、世界的に活躍された神戸出身の芸術家・菅井汲画伯によるもので、旧制甲南高校の校章の「かぶと」をモチーフにしています。

甲南大学の教員が執筆した

### ブック紹介



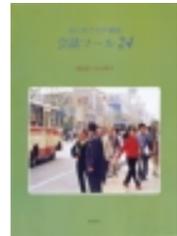
『明治地方財政史 第一巻 明治維新と地方財政』  
高奇昇三 著  
勁草書房 ¥5,000(税別)



『デリバティブ会計とヘッジ戦略 FASB編』  
古賀智敬・河崎照行 訳者代表  
東洋経済新報社 ¥4,000(税別)

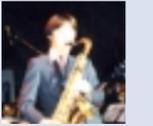


『マネー・マーケットの大潮流 国際金融資本市場の動向を展望』  
加野忠・砂村賢・湯野勉 著  
東洋経済新報社 ¥1,800(税別)



『はじめての中国語 会話ツール24』  
胡金定・吐山明月 著  
同学社 ¥2,400(税別)

Box Close-up



文化系  
『JAZZ研究会』

## クラブ紹介 Box Close-up



全国の大学が集まる  
コンテストで10位入賞!  
さらなる活躍に期待

1999年に文化会軽音楽部から独立し、現在62人(男子38人、女子24人)の部員が所属するJAZZ研究会。17人の選抜メンバーから成る、「ニューポートスイングオーケストラ」や、誰でも自由に参加できる「ビッグマウンテンオーケストラ」など、あらゆる形態のパバンドで構成されています。パバンドのスタイルも、サキソフォン、トロンボーン、トランペット、リズムの各セクションを15人、20人で編成するビッグバンドや、4〜5人編成のコンボなどさまざま。練習日の指定は特になく、各バンドのペースによって異なっています。

毎年8月に東京で開催される「山野Big Band JAZZコンテスト」に、甲南大学JAZZ研究会を代表して、「ニューポートスイングオーケストラ」が参加。1998年から、3年連続出場記録を樹立しました。全国の大学にあるJAZZバンドが実力を競い合うJAZZ界の「甲子園」のようなもので、昨年は見事10位に入賞!今年の4月21日・22日に大阪で開催される「公文JAZZフェスティバル」にも参加が決定しており、そこでの成果にも期待が集まるそうです。それらの活動情報などはホームページに随時掲載。ぜひご覧ください。

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand/6004/>

お便り募集のお知らせ

「甲南 Today」では、皆様からのお便りを募集しています。お寄せいただいたお便りをもとに、誌上で皆様との交流を深めてまいりたいと思います。本誌同封のはがきにご意見等ご記入のうえ、お送りください。

EVENT GUIDE SCHEDULE

3月	新5号館建設竣工式 (3/22) 2000年度卒業証書・学位記授与式 (3/24)
4月	2001年度入学宣誓式 (4/5) 父母の会新入会員歓迎会 (4/5) 自治会オリエンテーション (4/5) 新歓祭 (4/5・4/6) 春季オープン・キャンパス (4/8) 2001年度講義開始 (4/9) 受講届受付 (4/16) 甲南学園創立記念日 (4/21) 甲南大学開学50周年記念式典 (4/21) オール甲南の集い (4/21) 第126回現代講座 (4月21日) 第45回甲南大学対学院大学 運動競技総合定期戦開会式 (4/28) 第28回甲南キャンプ (4/28～4/30) 前期社会人講習会「言語講座」(4/28～7/7)
5月	第32回学館祭 (5/14～5/19) 春期公開講座 (5/19～6/23) 第127回現代講座 自治会中央委員選挙

甲南Today No.4

【発行日】2001年3月15日  
【発行】甲南学園広報室  
〒658-8501  
神戸市東灘区  
岡本8丁目9-1  
TEL(078)31-434(代)  
【印刷】大日本印刷株式会社

甲南フォーラム

皆様からの  
お便りをつくる  
コミュニケーションスペース

子供が留学を希望しており、語学の勉強を頑張っております。今回の特集は、甲南大学の留学制度や留学生生活がよくわかり、大変参考になりました。(匿名希望)

甲南大学の情報を知ることができる唯一の冊子です。毎号楽しみにしています。クラフの紹介や食堂の様子など、学生が大学での生活に役立っているのかが知りたいです。(兵庫県 法学部・母)

甲南Todayは、よくまとめた冊子だと思えます。教授や講師の紹介や面白い学生などを取り上げて欲しいと思います。(兵庫県 文学部・父)

甲南学園の20世紀は、古いことが忘れられていく今日、とてもよい企画だと思えます。また今回の特集は、私が学生時代に訪れたイリノイ大学の様子を思い出せることができ、楽しく読ませていただきました。(兵庫県 経営学部・父)

ライプツィヒ大学、トゥール大学と協定が結ばれたことなど、積極的に海外交流を展開している甲南大学の取り組みがとてもよくわかりました。今後とも期待しています。(匿名希望)

学生の日常生活がよくわかり楽しく読ませて

その他、多数の「意見」ありがとうございました。

甲南フォーラムは、皆様からお寄せいただいたお便りをつくるコーナーです。皆様と甲南Today、さらには「父母の間」を結ぶ「コミュニケーションスペース」として活用いただければ幸いです。今回は第3号(特集「甲南大学の国際化」進む国際化と国際教育)に対してお寄せいただいた皆様からの声を紹介いたします。

いただきました。理学部が理工学部改編されるなど、今後の甲南大学の発展を楽しみにしています。(広島県 経営学部・母)

子供が下宿しているので、普段、どんな生活をしているのか、まったくわかりません。甲南Todayを通して、学生の生活や大学の様子が少しでもわかり、大変興味深かったです。(愛媛県 経済学部・父)

甲南大学の国際交流プログラムや、留学先での学生の様子など、体験談を通してわかりやすく紹介されていたと思います。(大阪府 経営学部・父)

ゼミや研究室の紹介「Korean Spirit」の記事が、特に面白かったです。OBの動向が気になりますので、今後、そういった記事を増やしていただければと思います。期待しています。(兵庫県 理学部・父)

甲南Today No.5 予告

2001年4月下旬発行予定  
特集  
就職活動最前線レポート  
「キャンパスのグローバルスタンダードって何だろう?」

編集後記

激動の20世紀に別れを告げ、21世紀を迎えたと思ったのもつかの間、早くも桜の便りが届く季節となりました。まさに、「光陰矢の如し」。月日の流れの早さには、たびたび驚かされることがあります。年度の締めを飾る特別企画「甲南大学の21世紀ビジョン」は、いかがでしたか。めまぐるしく変動する社会に対応すべく、甲南大学はさまざまな試みを実現させていることがおわかりいただけたと思います。次年度は年間5回の発行を予定。さらに内容の充実をはかり「甲南大学の今」をより詳しくお伝えします。「ご意見・ご希望」などがありましたら、ぜひお聞かせください。今後とも小誌をよろしくお願いたします。



文化会能楽研究部が  
創部五十周年記念舞台を開催

文化会能楽研究部は平成12年12月17日、大阪能楽会館で創部五十周年記念舞台を行いました。当日は「狂言」「文荷」「口真似」「附子」や能楽「船弁慶」「安達原」などで完成度の高い演技を披露。満員御礼の会場からは盛んな拍手が沸き起こりました。

師匠の厳しい指導を受けて、連日連夜に及ぶ稽古を積み重ねてきたという学生たち。今後のさらなる活躍が期待されます。

「学術フロンティア公開シンポジウム」  
「現代人と母性」をテーマに開催



© Succession Picasso, Paris & BCF, Tokyo, 2000

学術フロンティア推進事業の第2回公開シンポジウムが2月25日、「現代人と母性」をテーマに開催されました。プログラムの第一部は、吉沢英成学長のあいさつと国際日本文化研究センター所長で京都大学名誉教授の河合肇雄氏の基調講演。続く第二部は、聖マリア病院母子総合医療センター所長の橋本武夫氏らによるシンポジウム「周産期における母性の育み」。母性の誕生する原点としての周産期に光を当て、産婦人科、小児科、助産、育児相談の第一線の現場から報告し、医療人類学といった広い視野からも総合的に議論が行われました。

「お知らせ」

「第47回卒業証書授与式」「学位記授与式」挙行  
3月24日(土)午前10時から、本学講堂兼体育館で「第47回卒業証書授与式」および「学位記授与式」が行われます。卒業生の皆様は午前9時30分までに式場内へお集まりください。ホストファミリー募集  
本学のホームステイ・プログラムに参加する、アメリカ・カナダ・イギリス・オーストラリア・ドイツ・ニュージーランドからの留学生のホストファミリーを募集しています。詳しくは、甲南大学国際交流センターまでお問い合わせください(TEL 078-452-1641)。

Information

就 / 職 / 情 / 報  
企業研究セミナー  
現在、2001年度新卒就職希望学生を対象に、各企業が個別に説明を行う「企業研究セミナー」を開いています。セミナーは1日2回、各90分を予定しています。  
期 間：3月23日(金)まで  
Bセミナー：13時30分開始  
Cセミナー：16時開始

お詫びと訂正

甲南Today No.3に2カ所、誤りがありました。お詫びし、次のとおり訂正させていただきます。  
P.7 マドック大学(オーストラリア)の説明文は「創立は1973年と比較的新しい国立大学。温暖な気候で知られるパースにあり、留学生の数は、学生全体の1割を占めるほど国際色にあふれた大学です。」外国留学5名」に訂正。  
P.15 「中井久夫共著論集」は「中井久夫共著論集 分裂病強迫症(精神病院)」に訂正。

2001年	前期	後期	
4月5日(木)	入学宣誓式	9月21日(金)	後期講義開始
9月9日(月)	講義開始	11月21日(水)	大学祭(予定)
16日(日)	受講届受付	12月22日(土)	講義一旦終了
21日(土)	学園創立記念日	24日(月)	冬期休暇
16日(日)	50周年記念式典	1月6日(日)	2002年
14日(土)	前期講義終了	1月7日(月)	講義再開
7月13日(金)	前期試験予定	10日(木)	2001年度
16日(日)	補講日	11日(金)	講義終了
30日(土)	前期試験予定	12日(土)	補講日
23日(日)	大学院前期講義終了	15日(土)	後期試験予定
30日(土)	大学院前期試験予定	30日(水)	2001年講義終了
9月20日(木)	夏期休暇	22日(火)	大学院
9月20日(木)	前期未卒業証書・学位記授与式	23日(水)	2001年講義終了
		30日(水)	大学院後期試験予定
		3月25日(月)	卒業証書・学位記授与式

2001(平成13)年度の学事日程

「女性 豊饒な力と華麗なる輝き」(仮題)  
春期公開講座受講者募集  
【開講日時】5月19日(土)～6月23日(土)(毎土曜日 全6回 13時30分～15時00分)  
【定員】200名(社会人対象)  
【開催場所】甲南大学1号館2階122講義室  
【講師】井野瀬久美恵教授・上村邦子教授・川田都樹子助教授・高石恭子助教授・西田英樹教授・脇田晴子滋賀県立大教授(五十音順)  
【受講料】3000円(6回分、テキスト等資料代・傷害保険料・消費税を含む)  
【受付期間】4月16日(月)～4月25日(水)(予定)  
【申込方法】往復はがきで広報室まで